

国交省 建設業の生産性向上事例発表

国土交通省は11月18日、企業経営の視点で建設業の生産性向上を考える「地域建設産業生産性向上ベストプラクティス等研究会」を開いた。会合では、建設業がこれまで取り組んだ生産性向上のベストプラクティス68件を報告。「受注標準化」「工程管理の徹底」「原価管理の徹底」など6類型でモデル化。これらの事例は来年2月にまとめる報告書に、製造業を参考にした建設業版の「生産管理モデル」に盛り込み、中小・中堅建設業に広く普及させる。

モデル化6類型

受注標準化

省力化

工程管理の徹底

多能工化

原価管理の徹底

社内業務効率化

国交省 オンライン講座 「建設業生産性向上教室」開講

国土交通省では、地域社会を支える中小・中堅建設企業等を支援するため、「地域建設産業活性化支援事業」を実施する。事業の一環として、オンライン講座「建設業生産性向上教室」を12月13日より開講。開講に先立ち11月1日より専用ウェブサイトを開設し、事前受講登録を行っている。経営者、管理職だけでなく、出来るだけ多くの建設業に関わる人びとに向けて建設現場における生産性向上の手法を学習してもらうのが目的。各章10分程度で構成されており、パソコンだけでなく、スマートフォン等で空いた時間にいつでも、どこでも、誰でも、無料で受講可能。また、理解度が優良な方には、修了証が発行される。

～日本の建設業を元気に！利益は現場から！～ 配信スケジュール及び講座内容

- | | |
|------------|------------------------|
| 第1週：12月13日 | 第1章生産性向上に向けて |
| | 第2章適正な工程管理[1] |
| | 第3章適正な工程管理[2] |
| 第2週：12月20日 | 第4章現場関係者とのコミュニケーション[1] |
| | 第5章現場関係者とのコミュニケーション[2] |
| 第3週：12月27日 | 第6章適正な原価管理[1] |
| | 第7章適正な原価管理[2] |
| 第4週：1月10日 | 第8章労働安全と生産性 |
| | 第9章省力化工法・情報化施工 |
| 第5週：1月17日 | 第10章年間業務の平準化 |
| | 第11章社内業務の効率化 |
| 第6週：1月24日 | 第12章人材の育成 |

事前受講登録専用ウェブサイト

【サイトアドレス】<http://gacco.org/kensetsu/>

建設業の生産性向上を
学習するチャンスです！



【現場見学会レポート】小牧市 可児建設現場見学会

中小企業における先進的なICT取組を行っている現場見学会(11/11)に参加してまいりました。工事現場を撮影してタイムラプス(短縮動画)などの映像解析システムで得られた視覚情報が、安全管理をはじめ工程管理、事後検証に実際に活用されていました。さらにカメラの前面と背面の両方に超広角レンズを備えた360度全方位映像の録画を3次元モデルにする技術のデモンストレーションにも参加。今後、建設業の生産性向上実現には、ICTなどの技術活用が中小企業に広く普及することが要といわれています。建設業の未来を感じた現場説明会でした。



工事現場に設置された撮影などの現地映像集積装置管理ボックス。映像情報で、施工品質の証明、進捗管理、完全管理、技術継承など多様な活用が期待されています。

【レポート】ドローンに関する可能性を探る講座

一般社団法人全国中小建設業協会全中建京都主催の建設業における『空の産業革命』をけん引するといわれるドローンを使った講座が京都精華大学で開催。「建設・建築・映像分野のICT化」として、トライポッドワークス株式会社代表取締役社長の佐々木賢一氏による講義。全中建京都の会員と学生の皆さんがドローンの可能性を探りました。



500mlペットボトルサイズに折りたためる小型ドローン



DJI Mavic Pro

Windows Liveメールサポート終了へ

Windows Liveメールは、2017年1月10日でサポート終了になります。Outlook(アウトルック)などへの変更をお勧めします。

詳しくは京都サンダーまで！



国交省 WLB推進企業に一律1点を加算

国土交通省は11月15日、直轄工事でワーク・ライフ・バランス(WLB)の推進企業を評価する対象工事や配点を決め、各地方整備局などに通知した。対象は、一般土木工事・建築工事・港湾土木工事のA等級のうち、政府調達協定(WTO)の適用工事。「えるぼし認定」「くるみん・プラチナくるみん認定」「ユースエール認定」を受けた企業に一律1点を加算するとしている。政府の「すべての女性が輝く社会づくり本部」が3月に決定した取り組み指針に基づき、直轄工事の総合評価方式でWLB推進企業に加点措置を与える。

いずれの認定企業にも、段階的選抜方式の1次審査の評価項目にある「企業の能力等」で1点を加算する。3段階で認定するえるぼし認定企業で、1・2段階目の認定を取得した企業には、認定に加えて長時間労働の是正などに取り組んだ「労働時間の働き方」に関する基準を満たすことを加点の条件とする。

国交省は、16・17年度は試行として一部の工事で加点措置を実施し、18年度から、全ての一般土木・建築・港湾土木A等級のWTO適用工事に対象を拡大するとしている。

講習会のご報告

京都サンダー受託研修会レポート

(一社)京都府建設業協会主催のフォローアップ研修会が11月24日京都キャンパスプラザにて開催されました。この研修会は、4月の新人研修セミナーのフォローアップ研修会となります。15社43名の新人の皆さんが参加。午前中の座学では、コミュニケーションのとり方など社会人としての心構えやビジネス文書作成の仕方などについて改めて学習。午後のグループディスカッション、キャリアプランの作成など多彩なメニューを熱心に学びました。一緒に長時間受講したことで交流が深まり、打解けた雰囲気、建設業の未来を支える仲間意識が芽生えたようです。



多忙な年末！パソコンの動作チェックを行いましょう！

最近、お客さまのPC故障(起動しない)が多発しています。おもに、お買い上げから4年以上経過したパソコンについての故障が多いようです。年末はパソコンを使った業務が集中する時期です。フレッシュに新年を迎えるためにも買い替えなどを検討されてはいかがでしょうか。

パソコン内部のデータ整理はお済みですか？

- ◆デスクトップの掃除、メールの整理
- ◆マイドキュメント、ピクチャ、お気に入りなどを整理
マイドキュメントには意外とデータが多く入っています。不要なデータは削除、写真なども整理しましょう。

建設ディレクター育成講座新春1月10日スタート！

◆建通新聞◆ 2016年11月15日掲載

現場とオフィスつなぐ新たな職域

建設業での女性の活躍を支援する京都サンダー(京都市上京区)の新井恭子社長(写真)は、現場とオフィスをつなぐ新たな職域として「建設ディレクター」を提唱。29年度から育成プログラムをスタートさせる。建設ディレクターは、建設業の現場をサポートする橋渡し役として、専門的スキルとコミュニケーション能力を持つ人材。こういった人材を活用することで、現場の負担を軽減し、生産性の向上や若手の育成・定着につなげる。経営面でも、組織の活性化や利益確保につながるとしている。



建設ディレクターの育成プログラムとして、①建設フロントマネージャー(全9回)②積算マネージャー(全2回)③建設コストマネージャー(全4回)の各コースを提供する。17年度からの開講を予定している。

新井社長は14年度に、建設業関係者が一堂に会し、建設業の課題を解決して将来を展望する「建設未来京都フォーラム」を設立。建設業振興基金の振替事業「女性活躍支援に取り組み地域ネットワーク」にも参画し、「建設業女性未来づくりの会(CHTIC)」の代表を務めている。

問い合わせ先は京都サンダー(電話075-414-3000)。

「建設ディレクター」を提唱・育成ー京都サンダー

10月18日に、行われたシンポジウムにおける「新たな職域 建設ディレクター」の提唱が建通新聞で紹介されました。

建設ディレクターとは、生産性革命元年という新たなステージに突入した建設業において、オフィスから積算や原価管理のスキルで現場サポートする新たな職域。女性や若者の方々の活躍の場が広がります。



建設ディレクター育成講座は、1月10日～3月28日まで12回、毎週火曜、9:30～16:30の6時間京都サンダー本社2階ミーティングルームにて開催いたします。詳細は京都サンダーまで。

ムラテック "インフォメーションガード"

<京都サンダーの新製品、取り扱い開始商材のご案内>

業務データは社員が各自でPCに保存・管理しており、バックアップは取っていない。

突然のPCの故障でHDDの保存データが取り出せなくなったり、PCの紛失や重要データの誤消去といった人的被害リスクが潜んでいます。

クライアントPCデータは定期バックアップ。フレキシブルなアクセス権限管理で共有利用も安心です。



会社のPCで社員が自由にインターネット閲覧している。

悪質なサイトだけでなく、正規サイトも不正侵入により改ざんされ、閲覧するだけでウイルス感染のおそれがあります。また業務中に社員が個人的なSNSへ頻りにアクセスするなど、業務効率に影響が出る場合もあります。

高性能アンチウイルスで感染をブロック。不要なアプリケーションへのアクセスもきめ細かく制御できます。



停電やネットワークダウンといったアクシデントに備えたデータ保護対策は取っていない。

停電などの電源障害により機器の故障を招き、重要なデータを損失するリスクがあります。またネットワーク障害により必要な業務データにアクセスできないといった事態も起こります。

UPS※1接続で安全に自動シャットダウン。また多彩なバックアップで保存データを多重に保護します。



※1 無停電電源装置(推奨品別売)



InformationGuard

オフィスのデータを快適に保存
セキュアにガードする
アプライアンスボックス

製品保証 5年

製品カタログ PDFダウンロード

USB から侵入するウイルスも撃退！
トレンドマイクロ社製組込み型セキュリティーソフト搭載！
詳しくは京都サンダーまで！

